
7月より中小・小規模企業向けに提供開始、 AIを活用した仕訳・残高チェックシステム『MJS AI 監査支援』 ～入力内容確認を自動化し、業務効率化を支援～

財務・会計システムおよび経営情報サービスを開発・販売する株式会社ミロク情報サービス(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:是枝 周樹、以下「MJS」)はこの度、中小・小規模企業向け財務パッケージ『ACELINK NX-CE 会計(エースリンク エヌエックス シーイー)』と連携し、AI を活用した仕訳・残高チェックシステム『MJS AI 監査支援』の提供を7月13日より開始します。

『MJS AI 監査支援』は日次、月次、年次の財務会計処理の業務において、担当者が入力した仕訳の処理ミスや処理漏れなどを自動でチェックするシステムです。チェック結果は、確認が必要と思われる科目や金額が一目で分かるようレポートとして表示します。チェックするポイントは、前年同月などと比較しての著しい金額の増減、マイナス残高、仕訳の重複などです。また、チェックルールは、①税法などを踏まえたうえで、誤りが発生しやすいポイントを考慮しあらかじめ設定された「システム標準ルール※」、②ユーザーが設定する「オリジナルルール」の2つを任意に組み合わせてチェックすることが可能です。さらにAI機能により、学習データとチェック対象の仕訳データを比較し、確認が必要と思われる仕訳に対して修正提案を行います。

これにより、仕訳の科目や金額に誤りや異常値がないか、会計基準・税法に沿った正しい処理がされているか等チェックするのにかかっていた時間の短縮や業務の効率化、さらには月次・年次決算の早期化にもつながり、働き方改革の推進や人手不足といった課題解決を支援します。また、決められたチェックポイントおよびチェックルールに基づき監査が行われるため、チェックレベルが標準化され、経理知識のばらつきや担当者変更時における引き継ぎ漏れなどのリスクが軽減されるとともに、正確性が向上します。

MJSは、これまでに各種ERPシステムおよびクラウドサービスと、金融機関やクレジットカードなどの取引情報データを連携し自動で取り込む機能のほか、領収書のOCR読み取り機能による自動仕訳作成など、会計データの「入力業務の自動化」を支援するサービスを提供してきました。新型コロナウイルスにより、テレワークや業務の簡素化・自動化が進む中で入力だけでなく、今回の『MJS AI 監査支援』を組み合わせることにより、「入力内容のチェックの自動化」が可能となります。

『MJS AI 監査支援』は、2019年11月に会計事務所向けに提供を開始し、会計事務所が顧問先企業のデータをチェックする際にご利用いただいております。今回、中小・小規模企業向け財務パッケージ『ACELINK NX-CE 会計』との連携を開始したことで、企業が自社の仕訳データや試算表をチェックする際に、ご利用いただけるようになりました。今後、『MJS AI 監査支援』とMJSの他のERPシステムとの連携や他社システムとの連携を予定しており、より幅広い層の経理担当者の業務負担軽減や、正確性の向上、業務効率化を支援していきます。

※ 「システム標準ルール」は、MJS のシンクタンク機関である MJS 税経システム研究所が監修しています。

MJS 税経システム研究所は、税制改革や会社法改正、会計制度の変更に対応した、さまざまな情報やサービスをタイムリーにお客さまへ提供することを目的とした研究機関です。税務システム・商事法・会計システム・経営システム等の各研究会に分かれ、それぞれの分野での専門家を顧問・客員研究員として招き、研究活動を行っています。

《『MJS AI 監査支援』 画面イメージ》

全体科目・仕訳エラー件数を監査項目別に表示

著増減監査実行(6)	マイナス残高監査実行(4)	仕訳明細監査実行(28)	仕訳重複監査実行(20)	消費税区分監査実行(1)
------------	---------------	--------------	--------------	--------------

コード	科目	実行結果	前月残高	借方計	貸方計	当月残高
634	消耗品費	クリック				
635	水道光熱費					
636	旅費交通費					
637	手数料					

科目別、監査項目別にエラー件数を表示
例) この場合、消耗品費→著増減で 1 件チェックが必要

著増減監査実行結果 対象月: 5月 科目: 消耗品費 1件

(1) クリック 仕訳表示

「消耗品費」の勘定残高が前月比51.12%となり、しきい値である+5.00%を超えています。

○ 確認OK ○ 確認NG ○ 保留

▼ コメント

仕訳明細 対象月: 5月 ステータス: 未確認

監査種類
著増減監査
前月残高
310,741円
当月残高
469,605円
監査メッセージ
「消耗品費」の勘定残高が前月比51.12%となり、しきい値である+5.00%を超えています。

検索No.	伝票No.	月日	借方科目	借方補助	借方金額	貸方科目	貸方補助	貸方金額	
8		505	634		15,572	111		15,572	10
			消耗品費			現金		18	
141		525	634		156,000	111		156,000	10
			消耗品費			現金		18	

2019年度 ミロク商店

AI仕訳チェック 月度 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 決算 提案件数 8 / 仕訳件数 108

修正提案 <借方> 新聞図書費 <貸方>

過去に入力された仕訳の摘要から科目を推測し、貸借の勘定科目の確認を提案

検索No.	伝票No.	月日	借方科目	借方補助	借方金額	貸方科目	貸方補助	貸方金額	期日	摘要
2	1		250,000		10	22,727				倉庫修繕
			18	販売管理費						
3	1003		10,000		10	909				香典
			18	販売管理費						
7	1005		40,000		111	40,000		3,636		新聞×10部
			水道光熱費			現金				
			631		25,000	130		25,000	10	2,272

監査結果一覧						
No.	監査種類	実行日時 ステータス内訳	4月	5月	6月	
1	月次残高監査 着増減	最終実行日時	19/10/23 19:00	19/10/24 16:29	未実行	
		ステータス	未確認	0件	6件	
			確認OK	0件	0件	
			確認NG	0件	0件	
			保留	0件	0件	
計	0件	6件				
2	月次残高監査 マイナス残高	最終実行日時	19/10/23 19:00	19/10/24 16:31	未実行	
		ステータス	未確認	3件	4件	
			確認OK	0件	0件	
			確認NG	0件	0件	
			保留	0件	0件	
計	3件	4件				

監査結果は月別、監査別に
年間の監査結果を
一覧で確認可能

《『MJS AI 監査支援』システム概要》

■ システム内容

会計データと連携し、月次、年次の財務会計処理の業務において、担当者が入力した仕訳の処理ミスや処理漏れなどを自動で監査(チェック)します。チェック結果は、確認の必要があると思われる科目や金額が一目で分かるようレポートとして表示します。

■ サービスロゴ



■ 利用対象

中小・小規模企業向け財務パッケージ『ACELINK NX-CE 会計』

製品:URL https://www.mjs.co.jp/company/software/accelink_nx_ce/concept.html

■ システム提供開始

2020年7月13日

■ 価格

買い取りプラン 67,000円(税抜) (1ライセンス) ※保守契約が別途必要です。

サブスクリプションプラン 月額2,000円(税抜) (1ライセンス)

※上記は、『ACELINK NX-CE 会計』のオプション機能として提供します。

■ システム情報

URL:<https://www.mjs.co.jp/feature/ai-kansa/>

■ 株式会社ミロク情報サービス(MJS)について (<https://www.mjs.co.jp/>)

全国の会計事務所と中堅・中小企業に対し、経営システムおよび経営ノウハウならびに経営情報サービスを提供しています。現在、約8,400の会計事務所ユーザーを有し、財務会計・税務を中心とした各種システムおよび経営・会計・税務等に関する多彩な情報サービスを提供しています。また、中堅・中小企業に対して、財務を中心としたERPシステムおよび各種ソリューションサービスを提供し、企業の経営改革、業務改善を支援しており、現在、約10万社の中堅・中小企業ユーザーを有しています。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ミロク情報サービス
社長室 経営企画・広報 IR グループ 新井・安藤
Tel :03-5361-6309
Fax:03-5360-3430
E-mail:press@mjs.co.jp